

西成区「あいりん地域のまちづくり」 第6回労働施設検討会議 議事概要

1 日 時 平成28年4月22日（金） 午後6時45分～午後8時30分

2 場 所 西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

（有識者3名）

福原大阪市立大学大学院経済学研究科長

寺川近畿大学准教授

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

（行政機関11名）

大阪労働局 大谷会計課長補佐、五代儀職業対策課長補佐、ほか2名

大阪府商工労働部雇用推進室労政課 地村参事、芝課長補佐、ほか3名

西成区役所事業調整課 室田課長代理、狩谷係長

（地域メンバー18名）

川村萩之茶屋第2町会長

吉田萩之茶屋第4町会長

蕨川萩之茶屋第6町会長

茂山萩之茶屋第9町会長

田中萩之茶屋社会福祉協議会会長 萩之茶屋第5町会長

松繁釜ヶ崎資料センター

山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長

山田社会福祉法人大阪自彊館第二事業部長

村井西成区商店会連盟会長

山田 NPO 法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事

中岡公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表

吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

本田釜ヶ崎反失業連絡会共同代表

山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

水野日本寄せ場学会運営委員

4 議 題

労働施設の耐震化について

5 議事要旨

（1）進行の概要

前回会議での質問について、事務局（大阪労働局、大阪府）から回答。

続いて、意見交換を実施。

(2) 主な議事の概要

《前回の議論も含めた大きな論点》

- ・ 仮移転についてはどんな機能を入れるか、どのぐらいの広さが必要か
- ・ 3 候補地（北公園、南海高架下、萩小跡）
- ・ コスメ跡地が仮移転先として困難な理由について
- ・ ハードだけでなく、ソフトの議論も進める
- ・ 居場所の取り扱いについても議論が必要
- ・ 九州の地震も踏まえて早期安全確保を再認識

《前回質問の回答》

[労働行政として何か提案をして欲しい。]

事) 不十分でもいいから可能性としてどんなことができるか、という質問に対し対応できるところから順に提案させて頂きたい。

仮移転のみではなく本移転の提案もさせて頂きたい。

本移転に関しては今後 2、3 年かけてじっくり議論していきたい。

- ・ ハローワークとの連携資料紹介

⇒若者、子育て女性の就職支援。ひとつの提案

- ・ スケジュール表提示

⇒仮移転を早々に決着し、本移転の議論をしていきたい。

- ・ 仮移転と言えども本移転を意識した試行を取り入れるべきとの意見について

⇒たとえば、仮移転で整備する待合に大型モニターを設置し、求人票を提示していく。

これがうまく行けば本移転に向けてより充実化させていく。

- ・) 若者などは入ってるが、日雇の内容が無い。

- ・) 細かいことはあるが、積極的に考えて下さったのだと思う。

こういうことができるのか、こういう点で連携できるといった視点が必要で魅力がある。「できません。」ではなく、互いに意見を積極的に出していくという方向性が感じられた。

《大阪市の出席について》

- ・) 市の関係者がなぜ出てこないのか。

学校の件は白紙にしましょうか？市営住宅に関して。市がなぜ出てこない。

有) ここは労働施設をどうするかという場です。

- ・) 絡んでるじゃないか。

- ・) 市が出てくるとしたら、雇用対策やっている部署に出てきてもらうということ？

- ・) グランドデザインを誰が描くかというところが抜けている。

センターの総合議論に関しては、北半分の駅前開発の提案があってそのトータルの中での労働部会なのだから、市が出てこないと話できないだろう。

それとも全体のコーディネートを座長がやってくれるのか。

センターの敷地は府と市が所有しており、国は国有地を持っていないので、建てることはできない。あいりん職安が必要であれば誘致を受けることになる。

有) この会議は、住宅、医療など含めまちづくり全部のテーマの中で、労働施設に特化して個別に細かく議論していくという趣旨。

それをあとで全体でつなぎあわせていく。

この労働部会で出た結果を全体のまちづくりで提案していく。

- ・) ここは労働部会。地震が来たら危ないということで仮移転の話をしている。
- 有) 第2住宅は解決していない。これは管理が大阪市だ。
その問題を話す会議は用意されていると理解しているが…。
今は労働施設の仮設の話です。
- 有) ただ、まちづくり全体でランドデザインをつくっていくというご意見は大事だと思っている。
- ・) 相当がんばってもらわないといけない。ランドデザインと労働部会の調整で。現状に近い労働施設を僕らは望んでいる。
ここで話てできた結論をもって全体として、市として予算をつけたいと市長が言った。
- 有) 共感できる。市長に今後は取り組みを進めて行くよう話をしたいと思う。
- 事) 大阪市さんには、この会議で今のような意見が出たことをお伝えしておく。

《コスメ跡地について》

- 有) 移転先としてコスメ跡の活用について質問があったと思う。
- 事) まず浪速区にある。土地の持ち主は市の教育委員会。
未利用地の活用方針の中で、今のところ処分検討地で（1期処分）
28年度までに売却するというもの。
計画的に土地処分をおこなっていく方針のもの。
- 有) 売却の手続きには入っているのか。
地域の人たちとの調整はどうなっているのか。
- 事) 手続きは済んでいるが、地元との調整の中で、今後の活用など含め
色々な条件を考慮中である。
- 有) どのような場所にしていくか地元関係者の中で慎重ということか。
この跡地を仮移転先として検討していくことは難しいのか。
- 有) 地元町会との調整が進んでいないのであれば、早期の仮移転を目指すという
目的の中で仮移転候補地とするには時間がかかりすぎる。
- ・) 可能性のあるところで仮移転候補地の議論を進めていかないと時間がかかって
結局決まらない。
- ・) 今の候補地はいずれも現状のセンター全部を一度に持ってくるとしたら
手狭となる。
つまり、スペース的にはコスメ以外は無理ということになる。
地元の反対や調整の問題がこちら側と同じようにあるのはわかるし、行政的に
課題があるのはわかるが、コスメ跡での可能性が少しでも残っていれば
考えてほしいし、なぜ不可能なのかというその理由を明確に提示してほしい。
- ・) コスメ跡地を貸して欲しいと頼んでみて文書で断られたらはっきりするのは。
有) コスメ跡については可能性を調べ、情報を集めたいが、浪速区で地元調整が
進んでおらず、仮移転話を今から急に持ち込むことは難しいだろう。
可能性は低いということでご理解頂きたい。

《仮移転候補地のシミュレーションについて》

- 有) 現在の労働施設の周辺（150m以内の範囲）でシミュレーションをし判断するとの
前回の議論を踏まえ、寺川先生にシミュレーションを作成していただいたので
検討していきたい。
- 事) ※現状使用概要資料の紹介。読み上げ
- 有) ※図面の紹介。説明。

■南海高架下

- ・南海高架下で単純に現状センターの使用面積を入れたものになります。
- ・Cブロックで敷地面積 1,142 m²。高架下なので柱があるが、おおよそ2階建てで
使える面積は倍ほど。
- ・Dブロックは天井が低く1階建てが限界。
- ・結論としては、事務機能や使用スペースなどは入る。
- ・ただ、現状のままセンターの広い寄り場スペースを入れるのは難しい。
- ・駐車場については別途検討しないといけない。

■北公園

- ・結論としては、寄り場スペースや機能の切捨て等を含めかなりの工夫をしないと
この中に入れるのは厳しい。

- 有) 今の広大な寄り場を前提とし、それだけ必要なのかという議論は必ず出る。
昔と比べたら250人とかで全然使われてないのが現状。
- 有) いずれも今あるセンターとまったく同じとはいかない。
工夫しながら対処していく必要がある。

[シャワー室について]

- ・) 現状使用概要の資料について、シャワールームはどこに入っているのか。
- 事) 「その他」に入っている。
- ・) シャワーは作れないのか。
- 事) 仮移転先には面積の関係もあってシャワー室は入らない。
- 有) 寄り場には取れなさそうだ。
- ・) シャワー室も本移転の時には入れてほしい。
 - ・) ゆっくり湯船につかりたい。なぜシャワー室がお風呂にならないのか。
 - ・) 民業圧迫の問題があるのではないか。

[現施設の解体について]

- 有) 解体する際のセンター西側の道路幅についても心配があったと思うが。
- 事) 専門業者に確認を取ったところ、解体工事による道路への支障については
心配無い。センター敷地内にタワークレーンを吊り上げ、上から部分的に
解体していくもので技術的に可能。

[昼間の居場所について]

- 有) 昼間の居場所についての問題。
市の管轄になるが、市のご意見はいただけますか。
- 事) 大阪市さんからまたご報告をいただいて、ご議論できればと思います。

[南海高架下の耐震について]

- ・) 地震でセンターだけが壊れることが前提とされている。
センターが壊れるぐらいの地震が来たら、南海高架が安全だと言えるのか。
南海高架下へ移るなら、脚柱を強化するとかが必要だろう。
- 事) 現状のセンターはI s 値 0.2 であり、専門家が見ても予断を許さない状況。
南海高架下は公共交通機関であり、さすがに大丈夫だと聞いている。
改めて南海に確認する。

[南海高架下の駐車スペースについて]

- ・) 車寄せのスペースが重要。
この現状資料の面積の中には車のスペースは入っていないのか。
- 有) 入っていない。
仮移転候補地の面積の中に駐車場を入れるのは厳しい。
前面道路を活用する等で検討していくことになる。
- ・) 皆さんはそんなに車が無いと思ってるだろうが、センターの外や皆さんが
寝ている時間に銀座通りなどに出ている。
仮移転先に集めるのに駐車スペースが小さくなると、また闇にまぎれて
しまわないか。
- 有) 警察許可で夜中停めてやれるような場所にするとか、そういうことは検討
できるのか。
南海高架下であればセンターと職安が離れており、車も人も通るので交通安全
の観点から、安心して移動できる通路のような工夫とかも必要と個人的には思う。
- ・) 朝三時に人が仕事を探しに行くのが正常と言えない。
そういう仕組みを考えないといけないのではないか。
- 有) 快適に仕事を探せるようにしていくということは議論していくべきである。
- ・) その問題は、仮設議論のあと、新施設の際に議論を深めていけばいい。
- 有) 2~3年かけて議論しようということであった。人間らしい職業紹介については、
新施設の構想の中で議論していきましょう。

[議論の概要について]

- 有) 本日の頂いたご質問にはお答えするとして（コスメ跡地の可能性を再度確認）
ひとまず南海高架下を最優先候補地として、さらに細かいこと、詰めるべき論点
を洗い出し、今後、詳細な提案をしていくということで進めたいと思う。
- ・) 今回の議論は高架下で収まるということが検証できただけで、高架下で進めていく
ということではないのではないか。
- ・) 座長は南海の下にセンターを入れたいのか。
- 有) 入れたいとか入れたくないとかではない。
現状候補地では南海高架下がもっとも現実的で可能性がある。
コスメ跡は先ほどあったように、時間がかかりすぎる可能性があつて
現状では望みが非常に薄いと考えている。
だが、もちろん可能性は平行して調べていくことは先ほど言ったとおり。
同時に最も現実的な南海高架下について議論を具体的に深めていく。

- ・) この仮移転問題はいつまでやるのか。
仮設というのはある程度不便でも仕方ないのではないか。
もしパーフェクトならそれはもはや仮設でなくて本設だ。
仮設なんだから、一番現実的な場所で、ある程度皆が不便を承知してやっていくしかないだろう。
 - ・) あと、1、2回で決定したいと思っている。
 - ・) コスメ跡は広くて良いが、車の出入りが難しい。
南海高架下は前の道路を駐車場として使えるなら問題ない。
 - ・) もうここで決めた。それに従えと言ってくれたらいい。
いつまで仮移転議論をやるのか。こちらも忙しい。
 - ・) 利用者がいる。安全のため仮移転を早くやってほしい。
今の機能をちゃんと運用できるということ、近隣であることが条件。
駐車場も含めて。
- 有) 今後、根拠を踏まえた提案をしていく。
本日の意見への精査と具体的な対応を事務局にお願いする。

【まとめ】

- ・ 仮移転先としてコスメ跡地の可能性について再度確認する。
- ・ 仮移転先として南海高架下での論点を詰め今後の詳細な提案をしていく。

6 第7回労働施設検討会議の日程について

次回検討会議 → 5月23日(月)午後6時45分～ (後日、開催を案内。)